

# 戦 評 用 紙

県民総合体育大会 兼 埼玉県高等学校バスケットボール新人大会

平成31年1月19日

会 場 上尾市運動公園体育館

決勝リーグ Cコート 第1

試合

	23	_____	11	
対 戦	19	_____	12	
埼玉栄高校				昌平高校
	13	_____	14	
74				52
	19	_____	15	

第1P 両チーム共にマンツーマンディフェンスでスタート。栄#2のゴール下で口火を切る。

昌平は緊張からかシュートは打つが得点できない。昌平TOで立て直しを図るが、明けて栄ディフェンスを強め、ターンオーバーを誘発し、ゴールを量産する。4分過ぎ、昌平はフリースローでようやく得点する。昌平が2-1-2ゾーンで守り始めると栄の得点も止まるが、23-11という大差がつく。

第2P 栄ボールで始まる。昌平2-1-2ゾーンから#7、#5がレイアップを決め、追撃開始。

昌平のゾーンで得点が止まっていた栄はサイズのある#2にボールを集め、果敢に攻める。差を詰めたかった昌平だが、栄は#8の3Pで流れを渡さない。一方の昌平のシュートはリングに嫌われる。終盤も栄の#0、#3の得点で42-23と昌平を突き放す。

第3P 開始直後、昌平は#6、栄は#3が得点を重ね、点を取り合う。栄は#3の3Pが効果的に決

まり、昌平は反撃の芽を摘まれる。終盤にも昌平#8と栄#8の3Pの応酬があるが、このピリオドはほぼイーブンで最終ピリオドへ。

第4P 昌平は高い位置からプレッシャーをかける。栄は2-1-2のゾーン。これを見た昌平TO。

明けると栄も上からプレッシャーをかける。2分過ぎ、思うように得点が伸びない昌平は、4分過ぎ栄#14が能力を活かしたリバウンドシュートを決めたところで再びTO。栄は2-2-1ゾーンプレスから2-3ゾーン。昌平はマンツーマン変えて栄の#14を守るが、栄#3、#0が連続得点し、最後まで栄ペース。一回り大きいサイズと選手層の厚さを活かし、埼玉栄が昌平を下した。

(記録者： 強 瀬 篤 )